

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究について共同研究機関を追加いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】

児童精神科を受診する児童を対象とした社会的支援ロボットを用いたインタラクションに関する予備的調査

【研究責任者】

大井瞳(認知行動療法センター 特命室長)

【本研究の目的及び意義】

近年、ヘルスケアや医療環境においてロボットを用いた治療や支援が受け入れられています。日常生活の中でもロボットが普及されてきている一方で、ロボットと人間の親和性を考えることは、ロボットにおける治療や支援を考えるうえで重要です。そこで、本研究では、児童精神科に通院する児童がロボットや日常的に接する人々(サポート源)に対して抱くサポートの期待の特徴を検討することを目的としています。また、得られた特徴が不安症状や抑うつ症状にどのように影響を及ぼしているかについて検討します。本研究で特徴が明らかになれば、うつ病や不安障害などの感情障害や ASD の子どもに対する治療の新たな視座を提供することが期待されます。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

1)研究の参加基準

この研究では、以下の選択基準のすべてを満たし、除外基準のいずれにもあてはまらない児童およびその養育者を研究対象者とし、研究への参加をお願いしています。

●選択基準

- 1)小学校3年生以上中学校3年生以下である方
- 2)児童および養育者の両者が本研究の目的、内容を理解し、研究参加の同意がある方

また、以下の条件のうち1つでも当てはまるものがある方は、研究に参加いただくことができません。

●除外基準

- 1)児童が、著しい希死念慮がある方
- 2)児童に、この研究を協力するにあたって問題行動(たとえば、かんしゃくをおこす、なぐる・ける)がある場合
- 3)養育者が、児童のサポートが難しいほどの身体の病気や障害を有する場合
- 4)その他、医師や本研究の責任者が不適切と判断した方

利用する試料・情報等

この研究では、以下の調査用紙にお答えいただきます。なお、今回の調査ではロボットに関連するイラストは表記されますが、実際のロボットを用いることはありません。

【A】(児童本人による回答)

- ・基礎情報(年齢、性別、家族構成、主訴)
- ・ロボットへのイメージに対する質問(2項目)

【B】

- ・周囲へのサポートに関する質問(児童本人回答)(16項目)
- ・気分に対するサポートについて尋ねる質問(児童本人回答)(12項目)
- ・児童の抑うつについて尋ねる質問(児童本人・養育者回答)(18項目)
- ・児童の不安について尋ねる質問(児童本人・養育者回答)(38項目)
- ・児童の特性について尋ねる質問(養育者回答)(75項目)

研究期間

研究実施許可受領後から2027年3月31日まで

【共同研究機関】

大阪大学 大学院

研究責任者 高橋 英之

医療法人社団 Nobisuko 半蔵門のびすこどもクリニック

研究責任者 河嵜 譲

帝京大学

研究責任者 賽吉 綾子

筑波大学

研究責任者 中島 俊

あなたやあなたのご家族がこの研究について知りたいことや、心配なことがある場合は、ご遠慮なくこの説明文書の末尾の問い合わせ窓口にご相談ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産権の保護などの理由により、対応・回答ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

また、本研究の実施に際してご迷惑をお掛けした場合など、苦情の申し立てをなされる場合には、苦情窓口(当センター倫理委員会事務局)までご連絡ください。

○本研究に関する問い合わせ窓口

〒102-0082

東京都千代田区一番町4-16 プルミエール一番町1階

医療法人社団 Nobisuko 半蔵門のびすこどもクリニック

医師・医学博士 河嵜 譲

○苦情窓口

〒187-8551

東京都小平市小川東町四丁目1番1号

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinri-jimu@ncnp.go.jp